



illustrator
植草桂子個展

Presented by PonoLipo

同時開催

「少女への鍵を探して」ホワイトスペース表参道ギャラリー

「《少女の時間》きのう、きょう、あした」ギャラリーニイク

2017.3.16 ~ 22 11:00am ~ 7:00pm (Last day 4:30pm close)



個展開催によせて

植草桂子

小物を整理する引き出しの一つに、リボンやレースの端切れを入れている。

ほんの10cmほどのリボンは使い道もなく、レースを身につけるのは私の柄ではない。ときどき眺めては、少し胸が踊るのを楽しむだけ。それは子供時代に味わったパフスリーブのブラウスに袖を通す喜びに似ている…柔らかく甘い思い。少女が特権的に味わえる感覚。

やがて大人になるに従い、日々の現実にその感覚は磨耗されてしまう。ふと恋しくなり、少女に戻りたくなっても、もう帰ることはできないのだ。

どこかにその帰り道に続く鍵が隠れているかもしれない。花の茂みだろうか、オルゴールの箱の下だったか、それとも猫の首輪についてるのかしら、と。

結局、それを探すように何度もリボンの引き出しを開けているのかもしれない。そして、それを探すように絵を描き、人形を作り、胸を躍らせている。

今回の個展は、その思いをポノリポショップの小高さんとKnock on woodの戸山さんのご協力を得て形にすることができました。女性の中にある少女を想い出して、少しでも心躍っていただければ幸いに存じます。



Profile Keiko Uekusa

●創作家

東京芸術大学デザイン科を卒業後、フリーイラストレーターとして活動。

雑誌や広告などを中心にイラストを描く傍ら、女性誌や新聞などでは暮らし周りの提案をイラストエッセイで綴っている。日常の小さな幸せをテーマに、女性や子供、ペットといった家族シーンのライフスタイルを優しいタッチで描くの得意とする。

近年はアートドールを創作し、2015年秋にプラハで行われたJAPAN ARTS AND CRAFTS IN PRAGUEに作品を出展している。

主な著書

「毎日がちょっと幸せ」主婦の友社/台湾にて翻訳本発刊
「ちょっと幸せ暮らしの歳時記」主婦と生活社
絵本「ヘリオット先生とドノバンおばさん」集英社



ホワイトスペース表参道ギャラリー

「少女への鍵を探して」

2017.3.16 (thu) ~ 22 (wed)

11:00am ~ 7:00pm
(Last day 4:30pm close)



Dresser
Primavera
Project



日本の伝統的な指物の技法を活かして、欧米スタイルの無垢の木の家具を三代にわたって作り続けてきた戸山家具製作所Knock on woodのクラシックな白塗りのドレッサーをキャンバスにして、細密な春の花々や生き物たちを植草桂子自身が手描きで描きいれた作品Dresser『Primavera』は、美しい春の輝きを少女の未来に約束することでしょう。悲しい時も楽しい時も、少女が大人になり母になり年老いていくその一生に寄り添うドレッサーに描かれた春の息吹は、その未来に幸多かれど、少女を愛おしむ思いを表現しています。

「素晴らしいハンドメイドのドレッサーに、
絵を描いてみない？」

ポノリポショップの小高さんにそう提案されたとき、最初、戸惑いと不安がよぎりました。丁寧に仕上げられた白い家具の肌に、絵の具をのせるなんて、失敗は絶対に許されません。

その後、何度か打ち合わせを重ねていき、互いの思いが同じ方向に歩み出しました。「大事な家具だからこそ、女性が大切に使って愛着がわく、そんなものを作りましょう！」小高さんと私は世界でたった一つの宝物を作りあげることを約束したのです。そして完成したのが、このプリマベーラ(春)です。少女が春の優しさに包まれ、生涯を花のように美しく幸福に過ごせるよう、一筆一筆願いを込めて描きあげました。

植草 桂子



Primavera

制作工程

およそ半年の間、ひとつひとつ細密な花々や生き物を白塗りのドレッサーに施していくプロセスは、失敗の許されない緊張感の中精魂込めて続けられ、Dresser『Primavera』が、一面春の息吹に包まれ誕生しました。



拡大鏡をかけて、無理な姿勢で根を詰めて細密画を描き続ける作業は苦しいが、没頭して夢中になる作業でもあった。



いつまでも見飽きることのない色とりどりの春の花々



Knock on woodの家具は丁寧に作り上げたハンドメイドの逸品。そこに絵付けをする緊張感でまた気持ちが入る。

Doll



「妖精の集まる窓辺」

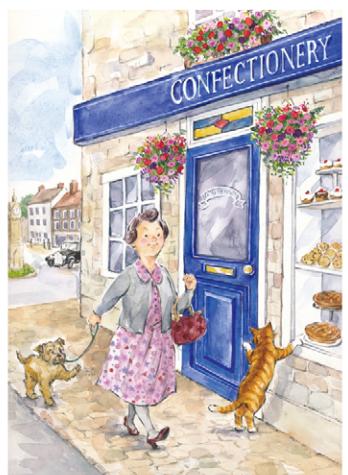
人形作りは少女時代からの夢だった。自らの指で、おとぎ話を形作る楽しみは何にも変えがたい。人形制作を始めてから数年ではあるが、その分いつまでも子どものような気持ちで没頭できる。

Illustration



「百合の時間」

ひっそりと静かな時間の中、百合の香りに包まれ想いを馳せるのは…。ホワイトスペースでは、イラストもおとぎ話のティーストがあるものを展示。



絵本「ヘリオット先生とドノバンおばさん」より

過酷な生活から助け出された犬と、その飼い主となったおばさんの物語を手がけた絵本。そこから、抜粋した原画を展示。

ギャラリーニイク
2017.3.16 (thu) ~ 22 (wed)
11:00am~7:00pm (Last day 4:30pm close)

「《少女の時間》きのう、きょう、あした」

すっかり大人になってしまった女性の中にも、必ず少女は住んでいます。ふと見せるあどけない微笑みや、茶目っ気のあるしぐさ。素になればなるほど、少女が顔を覗かせます。たぶん年齢という呪縛から解き放たれた時に、女性は自由に時間旅行ができるのでしょうか。遠く過ぎ去ったと思っていた少女時代。実はいつもの暮らしの中に散りばめられているのかもしれません。過去も今もこれからも、あなたの少女に会える瞬間は続きます。



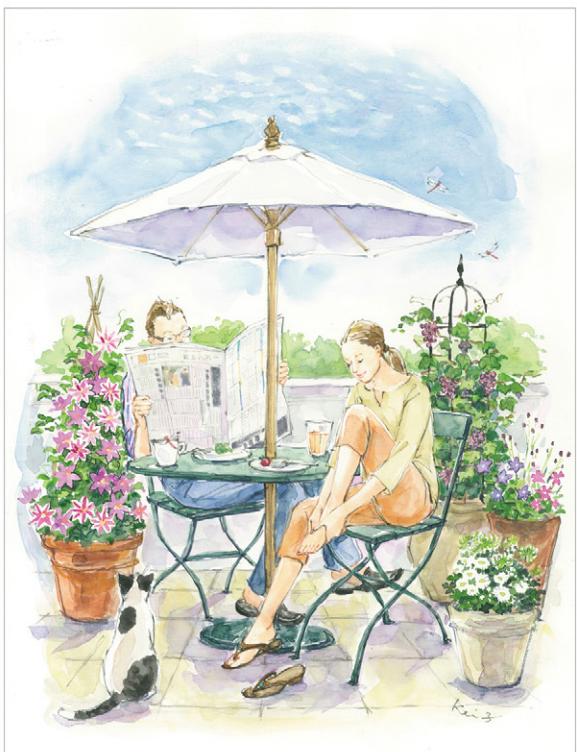
「ねえ、あのね」

洗濯物を干し終え、最愛の友人に、
小さな悩み事を聞いてもらう午前
10時。優しい友人はゆっくりと
うなずく。夏の前の優しいひととき。



「ごきげんよう」

おきまりの窓辺で、彼女はいつも彼を待っている。そしていつも庭の茂みから「ごきげんよう」という彼の声を聞く。たったそれだけでもそれでいい。ちょっとくすぐったい気持ちを味わえるのがいい。



「赤いなべ」

なべから漂う匂いにつられ、つきまとう猫をあしらいながらテーブルに向かう。このあと、彼女は猫を抱き上げ「困った子!」と嘆くふりをしながら、つい微笑んでしまうのだ。猫は喉を鳴らし、彼女はその丸い頭に鼻を擦り付ける。初めて猫を飼った日と同じように。

「日曜日のふたり」

生活を共にし、空気のような存在となつたふたり。今日の予定を聞き合う口調は馴れ合いで真剣味がないが、その気を許した空気感が心地いい。それはお互いが子どものように甘えている証拠だから。

植草桂子個展概要

「少女への鍵を探して」

開催場所：ホワイトスペース表参道ギャラリー
東京都渋谷区神宮前4-1-18

「《少女の時間》きのう、きょう、あした」

開催場所：ギャラリーニイク
東京都渋谷区神宮前4-2-19

2017年3月16日(木)～22日(水)

午前11:00～午後7:00 (最終日は午後4:30まで)

※16日(木)夕方5:00～ ホワイトスペース表参道にてオープニングパーティーを催します。
お気軽にお越しください。

お問合せ先

PonoLipo Shop 自由が丘 Tel&Fax : 03-5726-9936 担当：小高
※開催期間中は、03-3479-2775 ギャラリーニイク宛に植草・小高まで。



展示協力

●小高美保 (PonoLipo Shop 自由が丘)

自由が丘から発信するのにふさわしい幸福な家族の風景を描ける作家を探していた時、植草桂子さんと出会い、この方しかいないと一目ぼれしました。ショッピングニュース「PonoLipo Style」のイラストを毎号お願いしています。植草さんは、「さりげない日常のささやかだけれども大切な幸福」を美しく真摯に描ける稀有な作家です。今回の『Primavera』プロジェクトも、「家具店Knock on woodの贅沢な美しいドレッサーに描かれた植草さんの花の絵が観たい!」という一心で夢中になって取り組んできたものです。彼女と一緒に、私の中にも眠る少女の心が目覚めるようで、ワクワクドキドキのプロジェクトでした。

• PonoLipo Shop 自由が丘
東京都目黒区自由が丘2-18-15 1F Tel & Fax : 03-5726-9936

●戸山顕一 (Knock on wood)

「他に絶対にないものを作りたい。一緒に何かできればいいね」と小高さんに夢を語ったのがきっかけで、植草さんにKnock on woodの白く塗ったドレッサーに花の絵を描いてもらうことになりました。初めは、「平面とは違うから余り上手く描けないんじゃないかな」と不安もありましたが、息をのむような美しい作品に仕上がっているのを見て、Knock on woodの家具の新たな可能性を感じました。

「Knock on wood」の、日本の伝統的な指物技術を使って組み上げる無垢の木の高級家具に、作家が絵を描くという企画の趣旨をご理解いただき快くご協力下さいましたこと、作家としての植草桂子の価値を理解して、その作品世界を大切に思って下さることと深く感謝いたします。」
(植草桂子)

• Knock on wood
神奈川県海老名市今里3-25-41 Tel : Shop 046-292-3511 Works 046-232-3641

●テキスタイル協力：砂村雅則 (ルドファン 自由が丘)

●カメラ：渥美耕平 (mina studio 自由が丘)

